



みなとオアシス



紋別港では、国土交通省港湾局長が登録した港の施設「みなとオアシスもんべつ」を活用し、港のにぎわい創出や交流・ふれあい空間づくりを目的とした取組が行われています。8月25日、26日の2日間、「第11回みなとオアシスSea級グルメ全国大会inもんべつ」が開催されました。

来場者は、「麺類を食べて、他に3種類、持ち帰るところ。明日も来ます」「折角なので、地元以外のものを食べました」「やっぱり紋別のホタテが一番」「じっくり食べ比べて投票します」など、思い思いに楽しんでいました。

大会前日には、「みなとまちづくり研究会」（主催：（一社）ウォーターフロント協会）が開催され、みなとオアシスもんべつ運営協議会代表の竹内珠己さんが「オホーツク海:知られざる探検と北前船の交易」と題して講演。北前船は道南だけではなく、オホーツク海にも往来していたことを豊富な写真とともに分かりやすく紹介し、港とともに歩んできた地域の歴史を振り返りました。

冬の流氷ツアーに夏のイベントで多くの人々が集う紋別港。是非、地域との交流を図りながら、紋別のまちづくりに参加しませんか。



国土交通省北海道開発局から眞田仁港湾空港部長が大会開催を祝した

イベント期間中、ガリシコ号Ⅱに体港を巡るミニツアー



網走開発建設部紋別港湾事務所 所長 前田宗文 様

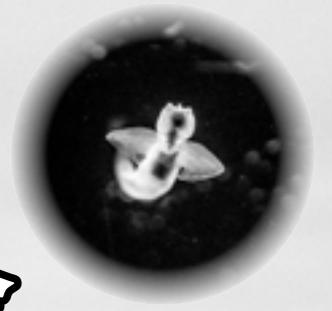
紋別港は、地域の基幹産業である水産業・林業などの産業活動や市民の生活を支える物流拠点港として発展してきました。

現在、沖合、沿岸漁業の基地として、より一層水揚げ作業の安全安心を図り、水産物輸出の国際競争力を高めるため、衛生管理面での基準も満たせるよう屋根付き岸壁の整備を進めています。これからも港を核としたまちづくりを支援していきます。



もんべつ

—Sea級グルメ集合



紋別市海洋公園に、全国のみなとオアシスから自慢のSea級グルメを携えて18店が集まり、多くの来場者が海の幸に舌鼓を打った



来場者は
験乗船。
を満喫



ファイターズガールズも元気
いっぱい会場を盛り上げた



表紙：紋別港のシンボル氷海展望塔「オホーツクタワー」とタワーまで伸びる全長515mの親水防波堤「クリオネプロムナード」

目次：Sea級グルメ全国大会は、道内では2013年の苫小牧港に次いで2回目。自慢の海産物を使った料理が一堂に会する

裏表紙：来場者の投票によるSea級グルメグランプリは、見事、紋別の「ホタテみそ焼きうどん」が獲得

